

『ライフヒストリーレポート選』の これまでとこれから

—— 創刊 11 周年記念校正者座談会 ——

中野花菜*・齊藤 ゆずか**・木谷 百花***
佐藤 遼太郎****・中元 洸太*****
菊地 暁*****

趣旨説明と自己紹介

菊地：お忙しいなか、お集まりいただき、ありがとうございます。本日は、『ライフヒストリーレポート選』の11周年を記念した座談会です。本当は10周年でやりたかったのが、コロナ禍やら何やらでバタバタして機を逸してしまい、11周年での開催となりました。ここまで来れたのは、まず優秀なレポートを書いてくれた受講生諸君とその話者、そして、校正を手伝ってくれたみなさんのお力あってのことです。『レポート選』からさらに選んでベストセレクションを書籍化できないかとか、妄想はいろいろあるのですが、とりあえず、そのような企画を妄想しつつ、ざっくばらんな座談会をやってみたいというのが本日のねらいです。

みなさまからご意見をいただきたいわけですが、まず、自己紹介、各自のレポート選との関わり——どうして民俗学講義もしくは民俗学ゼミを履修し、ライフヒストリーレポートを書き、さらに校正に関わったか——からお話ください。では、お若い方から。

中野：教育学部1回生の中野花菜です。京都市出身。「語り」、口で伝えられること、そこに現れる庶民の生き方といったことにもともと興味があり、フィールドワークもしてみたかったので、民俗学ゼミを履修しました。抽選に当たって良かったなと思っています。

*なかの はなな 京都大学教育学部 学部生

**さいとう ゆずか 京都大学文学研究科 修士課程

***きたに ももか 兵庫県立尼崎総合医療センター

****さとう りょうたろう 京都大学人間・環境学研究科 博士課程

*****なかもと こうた 京都大学人間・環境学研究科 研究員

*****きくち あきら 京都大学人文科学研究所

菊地：抽選当たって一回も来ない人いるんですよ（涙）来ないんだったら他に譲って欲しい。

齊藤：文学部3回生の齊藤ゆずかです。出身は北海道札幌市、菊地先生（の実家）と最寄り駅が一緒です（笑）2020年入学、ちょうどコロナ禍が始まった頃で、先輩とつながる機会もな
いまま、面白い授業も分からず、シラバスで判断するしかなかったのですが、民俗学のシラバ
スの熱量が他と違う感じがして（笑）

中野：「民俗学とは、人間の「せつなさ」と「しょうもなさ」に寄り添う学問」（笑）

菊地：たぶん、初代（校正担当）の中元くんの頃は、もっとちゃんとしたシラバスだったんだ
けれど。

齊藤：シラバスの濃さに押されて「何だろうこれは？」と履修したのが最初で、コロナで最初
の一カ月講義がなかったところに、参考文献に挙げられていた菊地先生の「うどんとモダン」
（『人文学報』83, 2000）を読みました。

菊地：ライフヒストリーレポートの参考文献で紹介しているもので、私が大阪大学の修士・博
士課程の頃に大阪府豊中市岡町の老舗うどん屋の御主人から聞き書きしたものです。

齊藤：それが本当に面白くて。民俗学とか人類学を勉強する前だったんですけど。もともと
歴史が好きで京大に来て、これを読んで、自分が歴史が好きな原点を思い出しました。遠い昔
の史料を読むというよりも、おじいちゃん、おばあちゃんと一緒にいて昔話を聞くのが好き
だったり、おじいちゃんと、昔の人形とか雑貨とかが並んだ近所のギャラリー（レトロスペ
ース坂）に行ったり、そういう身近な過去とのつながりを探ることが、民俗学でできるのだと興
味を持ちました。

菊地：面白がっていただいて恐縮。

齊藤：まちあるきゼミ（ILASセミナー民俗学ゼミ）も、コロナで講義が全部オンラインという
頃で、唯一ほかの受講生と顔を合わせることができる貴重な対面の機会になりました。

菊地：構外のオープンスペースだし、いいやと思って、まちあるきゼミは通常どおりだったん
ですよ。

木谷：医学部6回生の木谷桃花、出身は富山県富山市です。民俗学の講義は医学部の授業と重
なって取れなかったので、ILASセミナーのほうだったんですけど、人に興味がある、人の
人生、何を考えて生きているのか、といったことに関心があって、それを自分の人生に反映さ
せたい、自分に軸がなかったので、人の話を聞いてそれを寄せ集めて、自分の軸にできればと
昔からなんとなく思っていて、その参考になりそうなので、民俗学や文化人類学に興味あり
ました。ゼミのメンバーは5人だったのですが、一緒にまちあるきしているうちに、みんな地
元に詳しくったり勉強していたり、いろいろ考えているのだと刺激を受け、深みにハマって
いきました。

菊地：医学部生（6年制）は平日4限まで全て医学部オンリーのカリキュラムで埋まっている

『ライフヒストリーレポート選』のこれまでとこれから（中野・齊藤・木谷・佐藤・中元・菊地）

ので、他学部生との接点がないですよ。私も医学部生を教えたことがほとんどなかったので、木谷さんが来たとき「え？」と思いました。

佐藤：文学部出身、人間・環境学研究科修士3年の佐藤遼太郎。出身は山形県鶴岡市です。2016年の講義を受けて、レポートを出して、17年から21年ぐらいまで校正を担当しました。

菊地：5年ぐらい。長いですね。卒論、修論のある人はそちらを優先してもらいたいの、校正のお願いを遠慮していたら、修論出さない、じゃあやってもらおう、なんてこともあったり（笑）

佐藤：民俗学を受講したきっかけは、もうあまり覚えていないのですが、シラバスを読んで面白そうだと直感的に思っ。もともと民俗学に関心はあって、総論的なものを聞いておこうと受講しました。受けてみたら、この先生面白いと思っ、ノコノコ付いていくようになりました。まちあるきゼミは、2回生から履修もせずに非合法(?)に参加しました。

菊地：では、初代、必殺校正人の中元さん。

中元：昨年度、人間・環境学研究科で博士課程を修了しました中元です。本業は18世紀のイギリス常識哲学っていうのをやっていて、トマス・リードという哲学者を中心に、常識というものがどのように存在し、どのような役割を果たしているのかを研究してきました（中元洸太『トマス・リードの「常識」を読み解く：常識への二つの態度をめぐって』ナカニシヤ出版、2023）。

2012年入学で、ILASセミナーがポケゼミ（ポケットゼミ）と呼ばれていた頃です。ポケゼミの民俗学ゼミの初代にもなります。みなさんのようにモチベーションがあっ民俗学ゼミを取ったのではなく、第1希望の抽選に外れて第3希望ぐらいで履修しました。シラバスには当時から履修条件に「20年前後の人生経験があれば問題ない」云々と書かれていたと思っ。結果、いろんな所に行っ、いろいろ楽しませていただきました。

校正は、最初は論文の校正のお手伝いをして、それからチョコチョコ仕事をいただくようになり、『ライフヒストリーレポート選』も担当しました。4年ぐらいやったと思っ。

菊地：校正は、民俗学ゼミを取った人と『レポート選』に書いた人をお願いしてきました。この中だと、中元さんだけ『レポート選』に掲載されていませんね。面白いレポートだったのですが、プライバシーへの配慮から自主規制しました。今ならダメ元で打診してみるのは、その年が初めて『レポート選』を作った年でしたので、私の経験値が足りなかつたが故です。

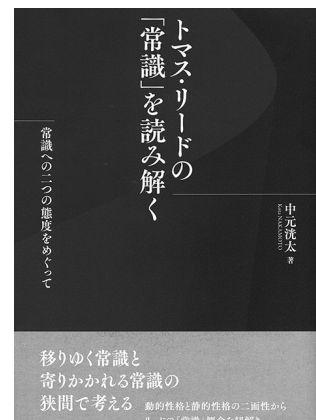


写真1 中元洸太『トマス・リードの「常識」を読み解く』（ナカニシヤ出版、2023）

中元：言い忘れましたが、兵庫県伊丹市出身、尼崎市在住です。

草創期（2012～2014）

菊地：では、自己紹介が終わったところで、校正担当者からそれぞれ、印象に残った作品を挙げていただきたいと思います（本論末尾【ライフストーリーレポート選収録作品一覧】参照）。

まず、1冊目（2012年）、記憶に残るのは？

中元：やっぱり（民俗学ゼミメンバーの）越智（雅子）さん [2012 ⑩]。

菊地：やっぱり知っている人が書いた作品は気になりますよね。愛媛県越智郡出身の越智さんがおばあさんについて書いたもの。伝説から何から面白い話を書いてくれました。越智さんはいま、図書館関係の仕事をされています。

2012年ですと、私が民俗学講義を担当していた大阪市大の受講生が書いた、朝鮮半島からの引き揚げを体験されたおじいさんの話で、船賃がなかった人が38度線の川を渡れずに取り残されたとか、生々しい描写が印象的です。

あと、香港在住の華僑のおばあちゃんが、太平洋戦争中、香港を占領した日本軍に暴行されるかもしれないので、4年間ほとんど家を出ることがなかったと語ったのも、占領される側の姿がリアルに想起されます。こういう戦争体験のレポートは、話者の高齢化によって、年々聞けなくなっていきます。

ちなみに、2012年のものは、初めてなので編集作業に手間取り、2014年に刊行されました。2012年から2014年は、研究経費に余裕があったので、版下作成から外注してキレイな造本になっています。その後は、お金を節約して、私がInDesignで版下作成して印刷所に入稿しています。なので年末はAdobeの奴隷労働です（笑）



写真2 『ライフストーリーレポート選』2012～2014

『ライフヒストリーレポート選』のこれまでとこれから（中野・齊藤・木谷・佐藤・中元・菊地）

2013年は、そのような事情で、2012年を出してすぐに刊行しています。この年は、「私は、要らん子だったんよ」というおばあちゃんの衝撃的告白から始まる作品 [2013 ⑬] が印象的（最近、『図書』2023年1月号の拙稿でも紹介しました）。話者の実父が怠け者ですぐに離縁されるも、話者の母のお腹にはすでに子種（話者）が宿り、その子を墮ろすため、母は神社の階段を何度も飛び降りたが、上手くいかず、生まれてしまった、という、何ともいえない話。

というのがあるかと思ったら、見合いを断り続けた娘の寝室に、ある日、母親が包丁を持って現れ「結婚し」と迫った、とか。結婚とは？家族とは？と考えさせられる作品は多々あります。

中元：これもそうですけれど、宮本常一『忘れられた日本人』（未来社、1960）を授業で紹介されているじゃないですか。それを契機に、私もこんなかんじで書いてみよう、という人がけっこういるのでは？

菊地：そうそう。あれを紹介しておく、ダメされて、話者の口調を再現しなければいけないと頑張ってくれる人がいて、力作レポートを書いてくれます。そうじゃなくてもいいんだよと伝えてはいるのですが。ダメされてくれる人がいて嬉しいなあ。語り口を再現したものは迫力が違います。

2014年は中元さんがお一人で校正を担当されましたが、どうでしょう？

中元：この年は、尼崎のお父さんですね [2014 ⑩]。売血の話が出てきたり。劇団員の。

菊地：そうそう。劇団員のお父さん。60過ぎ。ガンで余命わずかと宣告されているお父さんからの聞き取り。中元さんは尼崎在住だけど、やっぱり自分の知っている土地の話は面白いよね。いろいろ発見がある。

中元：お父さんに聞くのはけっこう抵抗もありそうですけど。

菊地：そうなんだよね。おじいさん、おばあさんほど距離が取れない、関係が深い分、愛憎半ばするところがある。客観的に聞けない、書けない、ということがありそうな気がします。この、死期が迫った父から娘が聞くというケースは、なかなか稀有。

中元：宇和島の牧師さん [2014 ⑰] も面白い。

菊地：なんでか分からないけど、四国の西南部から来る人の生活史は、濃いキャラが多いというか、面白い。その次の、ミュージシャンのお父さん [2014 ⑱] も「めんたいロック」の世界がうかがえてよいです。

あと、この年面白かったのは、中国天津で生まれたおばあちゃん [2014 ㉒]。中国人の家政婦さんが、お嬢様を立派なレディに育て上げるために纏足せねばならないと思ったらしく、赤ん坊の頃に足を包帯でグルグル巻きにされる、という珍しい体験をされた方がおられました。日本人にも纏足の体験者がいたのかとビックリしました。

模索期（2015～2017）

菊地：中元さん担当が続きますが、2015年はいかがでしょう？

中元：出版社（小学館）の方のもの [2015 ⑤]。

菊地：これは珍しいスタイルでした。全編箇条書きで、ダメなレポートかと思ったのが、よく読むと中身は面白いので、載せてみたところ、後日、話者のおじいさんから「書き手に恵まれませんでした」という大意のお手紙をいただきました。話者にはご満足いただけなかったようです。まあ、出版社勤務の方なので、せっかく美味しいネタを話してやったのに何だ、というところだったのでしょ。

中元：これは校正にも困りましたね。

菊地：2016年、ここで、御存知の方もおられる民俗学ゼミ参加者の川村さくらさんが登場します。校正の出来は申し上げませんが（笑）現在、朝日新聞記者として活躍されています。

[2016 ⑥] の著者名が仮名「みくり」となっているのは、当時流行っていた「逃げるは恥だが役に立つ」の主人公から取りました（笑）仮名にしてくださいという時、本人から仮名の提案があることはあまりなく、だいたい私が付けています。

2016年は佐藤さんが書いていますね [2016 ④]。何か思い出す作品はありますか？

佐藤：同輩の友人の作品 [2016 ⑮]。激動というか人生じたいがダイナミックで読み応えがありました。

菊地：このおばあちゃん、この世代にしては珍しくリケジョで、化学の研究職に就いたら、一輪の花のように、周囲の男たちが争奪戦を始めるという（笑）

[2016 ㉒]、熊本大学の助手になって水俣病を調査したおじいちゃんの話も興味深い。

これに限らず、有名な事件に関わる生活史が時々あります。前に戻りますが、[2013 ㉑]、

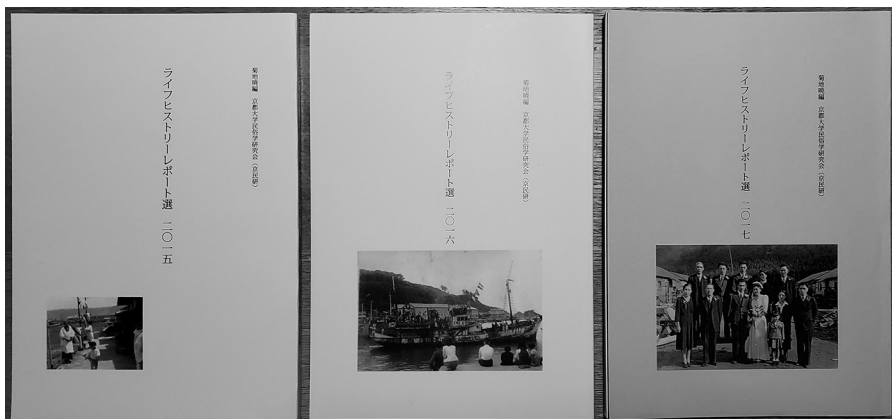


写真3 『ライフストーリーレポート選』2015～2017

『ライフヒストリーレポート選』のこれまでとこれから（中野・齊藤・木谷・佐藤・中元・菊地）

陸上選手で東京オリンピック（1964年）にも出場予定だったのが、ケガからのリハビリが間に合わず、なんとか力になりたいと、ポスターのモデルを買って出て、そうして出来上がったのが、陸上選手がスタートを切る瞬間を撮ったポスターだった、という話。外国人選手モデルは、在日米軍基地の陸上経験者だったのだとか。有名なポスターなので、そういうことだったのかと感心しました。

2017年、木谷さんが書いていますね [2017 ⑦]。印象に残る作品はありますか？

木谷：寿司屋の大将の [2017 ⑫]。

菊地：これは大阪市大（当時）で社会学を専攻していた方がバイト先の寿司屋の大将に話を聞いたものなのだけれど、大阪の下層社会がとてもリアルに語られている。話者の語り口をおこした部分と、著者の解説が交互になる手堅いスタイル。これは、よく聞いてくれたし、よく書いてくれたし、よく掲載許可をくれたなあ、と思う作品です。

木谷さんご自身は、なかなかイケメンなおじいちゃんの話を書かれていますよね。

木谷：ここまで詳しく話を聞いたことはなくて。富山の空襲の話とか。

菊地：トイレに行って防空壕に入り損ねたけど、その防空壕が爆撃されて結果的に助かった話とか。

あと、生活史レポートの話ではなくなってしまうけど、船員妻のおばあちゃんの話を書いた [2017 ③] の著者は、京大キャップ投げ倶楽部を作った方ですね。すごくアクティブな方で、関西の民放の番組で、キャップ投げ野球で阪神の八木裕選手と対決するとか、活躍が印象に残る方でした。

中野：今はどうされているんですか？

佐藤：去年、芸人「わっきゃい」としてR-1に出ていたかと。残念ながら予選敗退でしたが。タレント方面で活躍中。

菊地：へー。わりとイケメンだったしね。

木谷：軍医の娘の話も [2017 ④]。

菊地：民俗学ゼミ参加者の井上裕子さんの作品。写真を見る限り、若い頃はキレイな方だったようですが、レポート著者いわく、娘や孫に、「あんたらよりキレイやろ」と口に出してしまう、やや嫌味なおばあちゃんでもあるようです。ときどき、おばあさまが若い頃のたいへん美しいお写真を提供してくださる方がおります（笑）

第一次完成期（2018～2022）

菊地：あと思い出すのは、2017年には、木谷さんにも手伝ってもらったけど、回収騒ぎがありました。伏せて欲しいと言われた地名を伏せるのを忘れて。なかなか大変だったので、2018



写真4 『ライフストーリーレポート選』2018～2022

年からはゲラの著者確認をしっかりとるようにしました。

掲載作品数は、それまで20強だったのが、2019年から30前後になりました。

あと、内容的に掲載して良いか否か、を自分であまり考えず、良い作品と思ったらとりあえず打診してみて、著者話者の判断に委ねることにしました。運を天に任せる。「これ、掲載許可もらえるんだ!」と驚くこともあります。

2018年は、井上さん、木谷さん、佐藤さん、それに、立命館大学からモグリで参加していた菊池恭平さんが校正担当されています。こちらはいかがでしょう？

佐藤：[2018 ②3]、話者の言葉のみならず聞き手の質問もそのまま会話体で書かれているというスタイルが斬新というか、これもアリなのかと思いました。

菊池：聞き手の質問も載せるのは、無駄に文字数を稼げてしまって、メリット・デメリットがあるのですが、これは良く収まっている作品ですね。おじいさんではなくお父さんが話者。お父さんにしては歳が離れているかな。南洋群島で生まれて山形県に引き揚げたという話者ですが、故郷の説明が、息子が小学生の頃は「南の島」、中学生で「米沢」、高校生で「アギーガン

『ライフヒストリーレポート選』のこれまでとこれから（中野・齊藤・木谷・佐藤・中元・菊地）

島」と変わっていった、というのが興味深い。

齊藤：2018年のレポート選は以前いただいていたのですが、台湾から密入国して産婦人科医になった方 [2018 ⑰] が面白かったです。

菊地：これはメチャメチャ面白かったですね。植民地台湾生まれの話者、やがて国民党が台湾を掌握して、日本時代のエリート層が「反乱分子」とみなされるに至り、話者のご両親がこの子をそのまま台湾には置いておけないと、密出国させたという壮絶なライフヒストリー。密入国の際、お医者さんの父が当時とても高価だったペニシリンを持たせてくれたのだとか。

あと、興味深かったのが、丙午の俗信に関わるもの [2018 ⑨]。「丙午生まれの女は男を食う」という俗信があって、丙午生まれの女は結婚に苦勞する。そうならないよう丙午の年は出産や結婚が控えられるのだけれど、その年の後半からは、仮に子供ができてもお産は翌年になるので結婚が解禁される。この話者の祖父母はそんな時期に結婚し、新大阪駅で見送られて新婚旅行に出発したところ、取材されて翌日の新聞に載った、なんてことがあったそうです。

2019年は、木谷さん、佐藤さんに御担当いただきましたが、いかがでしょうか？ ちなみに、これだけ分厚いのは、用紙の選択を誤って厚めの紙を選んでしまったからです。作り直すかと密かに思っている（苦笑）

この年は、冒頭、両親が北海道に駆け落ちして生まれたというおばあちゃん（岡山県津山市在住）の話が鮮烈 [2019 ①]。父が遊郭の女とすき焼き鍋を囲んでいるところに、母が「勉強じゃ」と娘を連れて上がり込んでいって、すき焼き鍋を蹴っ飛ばす、というヴァイオレンスというかドラマティックな描写が冴えています。

中元：レポート選に岡山が出てくると、だいたい津山のような気がするんですけど。

菊地：地域のバランスはとっているつもりなのですが、不思議と選ぴがちな土地が確かにあります。高知県の宿毛もたびたび選ばれて、それぞれ強烈な、印象深い話者（だいたいおばあちゃん）が登場します。津山もホットスポットというか、何かを呼び寄せがち。

2020年は？

中元：アイスランドの人 [2020 ⑳]。

菊地：コロナが始まった年で、この筆者とはオンラインのやり取りだけで、会えないままでした。レポート選で初めてかつ唯一のヨーロッパの作品ですが、その初ヨーロッパがアイスランドだったところが感慨深いです。

外国のものでは、ちょっと戻りますが、2018年の、ベトナムからポートピープルとして日本に入国したおばあちゃんのものもありました [2018 ㉒]。慣れない土地で必死に生きてきたわけですが、（聞き手の）孫が日本の大学に進学できるほどには落ち着かれたようで、良かったなと思います。

中野：内容というよりも、語り方で気になったのは [2016 ⑩]。おばあさんが結婚までを詳し

く語ってくれて、21歳で結婚すると、「それが私の一生やわ」と終わってしまうのが、この時代の女性にとっての自分の人生というものが、結婚までなのかな、と。

菊地：ほかに、「ここで終わるの？」というレポートはありますよね。おじいちゃん、おばあちゃんの世代だと、結婚まで来ると、稼ぎもあって、家族もできて、と人生ソフトランディングということになるのだらうけれど。そこが、みなさんのような、結婚がリスクでありギャンプルでしかないという世代と決定的に違うところなのだと思います。

あと、なんでこんな、飲む、打つ、買う的な、とんでもない夫でありながら、離婚しないんだらうな、と思うものも少なからずあります。それだけ、結婚という枠組みが絶対だった、ということなのかな。

話を2020年のレポート選に戻しますが、いかがでしょうか？ 齊藤さん担当されましたよね。

齊藤：樺太の [2020 ①]。

菊地：樺太生まれのおじいちゃん、敗戦後、引き揚げまでロシア人と一緒に暮らしたという。

齊藤：ロシア人との絡みも興味深いのですが、北海道に引き揚げたからアイヌのチセでひと冬を過ごすというのも面白かった。

菊地：2020年はコロナが始まった年で、学生さんとの接点がオンラインしかなく、祖父母への聞き取りもいろいろ限定があったわけで、ちゃんと書けるかな、と不安でしたが、フタを開けてみると、例年通りというか例年以上の質でした。むしろ、学生さんに顔出ししないほうが、「あの先生はコワイ先生かもしれない」と、学生さんが油断なく課題に臨んでくれるのかもしれない (笑)

この年は、それまでそういうことをしたことはなかったのだけれど、筆者に仲介していただいて、札幌市在住の樺太のおじいちゃんに会いに行きました。樺太のことやアイヌのこと、いろいろ貴重なお話をおうかがいすることができました。

もう一人、少女時代を北京で過ごされた [2020 ⑦] の話者にも、そのお父様が勤められていた華北交通という会社に関わる資料が京大人文研に所蔵されていたので、何か御存知のことがないかと思い、お話をおうかがいさせていただきました。今日の座談会会場のこの部屋にお越しいただきました。

この年は、佐藤さんの高校の後輩の作品もありますね [2020 ④]。

齊藤：天理教のも興味深かったです [2020 ⑮]。

菊地：天理教の教会長を務める女性の生活史。教会長一家や信者とのトラブルじみた内輪話もあり、天理教からクレームが来ないかと心配になりました。

齊藤：[2020 ⑩] のおばあちゃんも強い！

菊地：男社会の中でたくましく生きる実業家女性。もらった感謝状を目の前で破り捨てるとい

『ライフヒストリーレポート選』のこれまでとこれから（中野・齊藤・木谷・佐藤・中元・菊地）

う痛快なエピソードがあり、破った感謝状の写真が『レポート選』に掲載されています。闘うおばあちゃん。山梨の因習的な土地柄とのコントラストが絶妙です。

2020年は、もう一人、話者にお会いしました。京大のすぐそばで下宿屋を営む男性 [2020 ⑬]。学生さんがコロナで出歩けないので、自分の下宿屋のご主人に話を聞いたもの。若い頃は水球で活躍したとのことで、この号の表紙写真もご提供いただきました。海パンはいた逆三角形の若者が居並ぶナイスな写真。

2020年はなかなか大変でしたが、結果的に実り多い『レポート選』になりました。2021年はいかがでしょう？ 齊藤さんと佐藤さんが担当ですね。

佐藤：京都の某大物政治家は何年でしたっけ？

菊地：[2019 ⑬] ですね。国会議員で大臣までされているので、読む人が読めば誰かは分かるのですが、仮名を条件に掲載許可をいただきましたので、収録しました。その仮名、意味あるのかな？ とか思いながら。京大経済学部卒なのだけけれど、左翼運動やってる学生に違和感があって、保守政治家になっていった方。政治家としてはいろいろな評価があるのだろうけれど、家庭人というか、孫から見た祖父の姿が興味深いです。

佐藤：こういうことが身内からの話として出てくるのがライフヒストリーレポートの面白いところ。

菊地：わりと最初の頃に、大平内閣の総理秘書を務めた方がありました [2015 ③]。なんというか、「末は博士か大臣か」の博士の生活史はけっこうあるのだけれど、大臣はこれぐらいかな。大臣の生活史を、しれっと載せることができ嬉しいです。

佐藤：「祖父は私に、『おじいちゃん』と呼ばせず、『センセイ』と呼ばせる」という一節が大好きです。

齊藤：2021年でいうと、最初の、北海道札幌市琴似の農家の息子が大学教授になる話 [2021 ①]。北海学園の大学紛争の話とか生々しい。

菊地：琴似って、まさに我々の最寄りの話なので、そうか！ といろいろ発見がありました。農家で鍛えて、柔道で鍛えたところを、学生紛争の時に、理事たちが心労で倒れていくなか、急遽、学生と交渉する理事に抜擢されるという。紛争時に自宅を学生に囲まれるとか。

齊藤：[2021 ④] の豆腐屋さんも、語り口がすごく生き生きしていて、好きな作品です。

中野：[2021 ⑫] の船乗りの方も、世界各地を股にかけた人生で、面白いですね。

佐藤：この年も引き揚げ系が多いですね。中国青島 [2021 ⑪] とか。

菊地：あと [2021 ⑭] は、大阪球場の受付嬢をされていた方。有名野球選手にナンパされるという話がかかれています。野村克也監督とか。

「ああ、そういうことなのか」と思ったのが、台湾人のおばあちゃん [2021 ⑳]。幼少期、家が貧乏で、祖父に売り飛ばされそうになるところを、姉が機転を利かせて押し入れに隠して

くれたので助かった、と。中国圏では、幼い女の子を養女にもらって、そのまま息子の嫁にしてしまう「トンヤンシー（童養媳）」という売買婚、一種の児童売買というべき悪習があることは知っていたのですが、それを当事者から見ると、ある日突然見知らぬオジサンに引き取られる、という体験なのだなど得心できました。

佐藤：沖縄のも [2021 ⑳]。冒頭の俗信の話から強烈。

菊地：これは、よく掲載許可が出たな、という作品（笑） ヴァイタリティあふれ過ぎなおばあちゃんが、どんどん商売を替えたり、（同じ相手と）結婚離婚を繰り返したり、非合法のチキンレースを楽しんだり、やりたい放題。

なんでこれ仮名にするのかなと思いつつながら仮名にする作品がある一方、なんでこれ実名掲載が許可されたんだろうと思うような作品もあります。

では最新号の 2022 年。中野さん登場。中野さんの書いた作品が 2 つ載っているんですよ。おじいちゃんのと、おばあちゃんのと。期末レポート課題の説明で「おじいちゃん、おばあちゃんをゴッチャにして書くな！中途半端になる！どうしても書きたいなら、おじいちゃん、おばあちゃん、それぞれ書け！」と言ったところ、初めて本当に両方書いたのが中野さんで、読んでみると両方面白かったので、両方載せました。

中野：ありがとうございます。

この号に限らず、なのですが、漁師で、ソ連に拿捕されそうになる時、日本製品を渡してお目こぼししてもらうという話が複数あって [2015 ①, 2022 ②]、複数の作品でエピソードが共通するというのが興味深かったです。

ダイナミックさでいうと [2022 ⑮]。神主さんの家に養子に入る話。

菊地：これもなぜ実名掲載なのかという作品ですね。あと、この号は民俗学ゼミ参加者が多かった。

中野：[2022 ⑪⑱⑳㉘㉙㉚] の 5 名 6 作品。

菊地：[2022 ⑪] は、おばあちゃんが伏見稲荷神社の門前で神具屋さんを営んでいて、今年、店を畳むというのでお店にうかがって、おばあちゃんにもお会いしたのですが、めちゃくちゃ面白くて、⑪の著者に、「お前、絶対いいレポートを書け！」と厳命してプレッシャーをかけて出来上がったのがこの作品です。ほぼ注文生産（笑）

中野：[2022 ㉗] の台湾のおばあちゃん、お金に困ったので幼稚園を開いたという話。

菊地：原因と結果がかみ合わない（笑）

中野：それでお金を稼いだのに、みんなに貸したりあげたりして、結局あんまり変わらない、という。ドーンと大きく稼いで、大きく使って、お金の波が激しすぎる。

菊地：堅実な人生はこの『レポート選』にはあまり載っていないのかも。

中野：子供の教育には惜しみなく使って、それを一生懸命返済していくとかいう話が多いのも、

『ライフヒストリーレポート選』のこれまでとこれから（中野・齊藤・木谷・佐藤・中元・菊地）

印象に残りました。

菊地：そもそも構造的な問題として、大学に通う孫に祖父母の聞き書きをさせているので、孫が大学に通う程度には健全な社会生活を送っている話者しか選ばれない。無計画で自堕落な生活をして最下層を生きるというような作品は、ほとんど現れません。たまに、知人男性・知人女性を話者にしたものが載ることはあるのだけれど。祖父母の場合は、ある程度のマトモさが担保されている。とはいえ、父母、祖父母と2世代遡ると、ずいぶんと多様性が現れてくるのが面白いところです。

この号に寄稿された齊藤さん、いかがでしょう？

齊藤：（話者になった）祖父に読んでもらったのですけれど、「オレが一番平凡な人生じゃないか」と（笑）

菊地：良いおじいちゃんですね。その感想。この号はちょっと反則をしてしまって、ワタクシ、道産子で、北海道の作品はどうしても載せたかったのですが、この年は適当な作品がなかったので、2020年に書かれた齊藤さんをお願いして加筆修正したものを掲載しました。

佐藤：そんな裏技が（笑）

菊地：この年は九州方面もナシ。面白い作品はあったのですが、掲載許可を得られず。

中野：近畿がすごく充実していましたね。

菊地：それは京都大学なので。受講生の4割が大阪という印象です。ただ、その偏りはあるはずなのだけれど、2代遡るとけっこうヴァリエーションが広がります。

齊藤：お寺のお嫁さんになった方 [2021 ③⑤] のを読んでみると、けっこう大変なんだなと思いました。たくさんの檀家をかかえて。

菊地：サービス業だし感情労働だし。どうしようもない死の悲しみに打ちひしがれた人の、最終的な受け入れ場所にならざるをえないわけだから。親しい家族を喪うことは、私たちにとっては特別な経験だけれど、そういう人を相手にすることが日常になるのだから。すごい世界だと思います。

これからのこと

菊地：だいぶ時間も経ちました。いろいろご意見をいただいたので、参考にさせていただきます。何の参考か分からないけれど。最後に、みなさん、今どんなことに取り組んでおられるのかをお話いただいて、終わりにしたいと思います。もしも、その上で、民俗学を学んだり、ライフヒストリーレポートを書いたり読んだりしたことでヒントになることがあったりしたら、あるいは逆に、これは違うと感じたことがあったりしたら、ご指摘いただけますとありがたいです。一言ずつ、お願いします。

中野：民俗学を取ってから、民俗学が何なのか、いくつか本を読んで考えたのですが、日本の民俗学と海外の Folklore とのズレや違いがあるのかと思いました。それを知りたいと思ったので、留学を計画しています。

菊地：どちらに？

中野：アイルランドの UCD (University College Dublin)。民俗学の概論とか取りたいと思っています。志望理由にも民俗学をやりたいとか書きちゃって。民俗学をやりたいというより、民俗学が何をしようとしているのかを知りたい、というほうが正確なのですが。

あと、民俗学に近いことをやりたいと思って、後期は文化人類学の演習を取って、そこで京北の移動図書館と、京丹波の町の図書室に居座って、いろんな人に話を聞くフィールドワークをしました。いろんな面白い話を聞いたのですが、特に人類学的な考察ができたわけではなくて、報告した際にそのあたりを指摘され、それはそうだなと思いつつ、でもやっぱり、人に話を聞くのは楽しいと思いました。

木谷：私はフィールドワークとか大層なことはしていないのですが、医学部で医者になろうと思ったのも、いろんな人の話を聞いて、いろんな人の人生に関わっていく、関わり方の一つとして命を助けたいというのがあって。

菊地：眩しすぎる。

木谷：それで医者になって。でもけっこう迷いながら。ほかのこともやってみたいなど、ゼミにも参加しました。1 回生の時にベトナムとかタイとかに行き、インタビュー調査が趣味の一つになったというか、内容的には医学的・疫学的なことを聞くのですが、そういう調査に参加して、日本でも世界でも、いろんな人に話を聞くのが好きだということを確認しつつ、一方で、ときどき研究室で実験なんかして、そういうのはあまり向かないなと思ったりしつつ、いろいろ考えてきた 4、5 年間。大学に入ってから、人の話を聞いて、まとめるというプロセスを学び、体系的に分かってきたかなというところで、京大のフィールドワークをしてきた面白い先生たちの話を聞いて、フィールドワークの先にある、先生たちが出会ってきた世界のいろんな人の話を抽出できたら面白いのでは、という気持ちが 5 回生ぐらいからあって、説明が雑になってしまって申し訳ないので、本を書いて、こないだ刊行されました (木谷百花編『旅するモヤモヤ相談室』世界思想社、2023)。

菊地：京大の文化人類学の先生にインタビューしたのをまとめた本。私は「似顔絵イラスト書いてもらえないクラス」でしたが (笑)



写真 5 木谷百花『旅するモヤモヤ相談室』(世界思想社、2023)

『ライフヒストリーレポート選』のこれまでとこれから（中野・齊藤・木谷・佐藤・中元・菊地）

木谷：ごめんなさい（笑）

菊地：かわいらしいイラストが良いなあと。まず表紙の木谷さんが良い。学部在学中に一冊まとめるというところで、すでに光り輝いておられます。

木谷：この中で、山極寿一前総長とか、15人の先生にインタビューして。インタビューを手伝ってくれた同級生の菊池恭平くんにもコラムを書いてもらいました。世界思想社から2023年3月13日に発売です。

中野：（目次を見て）すごい。

木谷：全然これで終わりじゃないな、というか、個々の事例を聞くことの限界、というか。一応一つ一つの章に「処方箋」を付けて、現代人のこういう悩みを解決するのにこんな知恵が役立つかな、ということ自分で書いてみたのですけれど、それも世界のごく一部に過ぎないので、これからもいろんな人の話を聞いていけたら良いかな、と思っています。

中野：そういう視点の医学部医学科の方がいるというのが驚きです。すごいカッコいい。

菊地：ツメのアカ煎じて飲むべきレベル。

齊藤：私は民俗学をやってみて、自分がいろんな所に行くのが好きだったり、青春18きっぷで旅行したりとか、趣味に結びついていったのですけれど。

あと、人の発話を文章にするのが好きだなと思っていて、じつは菊地先生にもインタビューさせていただいたのですけれど、『読書のいずみ』という、大学生協が出しているフリーペーパーに、大学生や先生にインタビューしたり、座談会をやったりしているのですが、それを文章にまとめる仕事を経験させていただいて、それは、いろんな人に会えるチャンスをもって、面白いことができているかと思っています。

もうひとつ、小説を書いている、小説家になることが小さい時の夢で、それを実際にやってみているのですが、ファンタジーも交えつつ。いま書いているのが、主人公とそのおばあちゃんの歴史が絡んでくるようなストーリーで、民俗学で聞き書きしたことが自分にインプットされているから書けるような気がして。自分の専攻とは違うけれど、自分の下敷きになっていて、1回生でこれを履修できて良かったと思っています。

中野：また読ませて欲しいです。

齊藤：そういえば、児童文学サークルの会誌を買ったら、中野さんの名前があってビックリしました。

あと、卒論のテーマは、台湾のこと、台湾で日本語を教えられた子供たちの作文や雑誌投稿を読んでいけたらなあと思っているのですが、それをやろうと思ったのも、中野さんに「世界の絵本フェア」みたいなのに誘われて、一緒に行った時に、温又柔っていう台湾の作家さんの作品を読んだのがきっかけだったので、不思議なんですけど、なんだか中野さんに導かれているみたいです（笑）

佐藤：私は2016年に祖父のライフヒストリーを書いたのですが、当時、祖父も弱っていて、先が長くないかもしれないと思いつつ筆を執ったのですが、その後、幸いなことに祖父は元気で、家族を交えて話を聞くと、取りこぼしていた話、これまで祖父が私には語らなかつた話がある、ということをしてその後数年で実感しまして、フィールドワーク、聞き取りが、観測者、取材者によって左右される、ということの面白み、可能性、限界を、身をもって感じたところでした。

菊地：何年かぶりに会う人から、「その話、初めて聞くけど何それ!？」ってことがありますよね。人生長くなってくると。

佐藤：それを身をもって実感できたのが、ライフヒストリーを書いてみた価値だったと思います。

菊地：だからといって、最初に書いたものが無意味というわけではないですね。

佐藤：そうです。

いま、私、本業としては上代文学をやっています、古事記・日本書紀に登場するカミが平安時代、中世を経ていくにしたがって、描写や特質がどのように変遷していくか、という研究をしているのですが、それについては、古い時代から、柳田、折口の研究がありますし、また、社寺の縁起が民衆との関わりが強いことから、民俗学関連からの言及もすごく多い分野なので、そんなことをやっております、国文学と民俗学というのは、互いに交渉しつつも、まあ、国文学の立場からは、「民俗学はこういつてるけどね(笑)」というような、少しうるんなものを見るような視線も多少はありつつ、もはや切り離せない関係で、テキストに現れないものを拾い集めていくという民俗学の手法が、われわれの研究分野を大いに補完してくれるものである一方、その手法・態度を批判的に見る視点も、民俗学の授業で、多少なりとも学ぶことができたのかなと思っております。そんなところで。

菊地：来年はちゃんと修論を提出するように。楽しみにしております。

佐藤：はい。3度目ですので。ありがとうございます。

中元：目で見る、耳で聞く、心で感じる、民俗学という範囲でいえば、それは研究の方法なんですから、身近に、僕たちの生活の中で感受性を高めていく方法であって、それによって、よりよく物を見たり、楽しく話を聞けたりという側面もありますし、そういう感受性を高める中で、はじめて、普通の人を大切にしていくという感覚も培われていく、そう考えると、民俗学は学問を越えて、僕たちの道徳的基盤を提供してくれるものではないかと、最近ちょっと考えているんです。

菊地：柳田國男が泣いて喜びそうなコメントだね(笑)

中元：私の専門とする18世紀イギリス哲学に、ジェームズ・ビーティという人がいて、彼は、感受性を高めていくことで、常識が洗練されて、人々が有徳でより良い暮らしをできるように

『ライフストーリーレポート選』のこれまでとこれから（中野・齊藤・木谷・佐藤・中元・菊地）

なると考え、その中でも、君主制と民主制の国家を比べ、身分の高い一部の人々に〈関心が〉限定される君主制よりも、多様な人々が関わる民主制のほうが、感受性を高めるのに相応しいのではないかと、チラッと書いたりしています。

そういった、学問を修めることで徳が積まれるという考えは、菊地先生は民俗学の最初の授業で否定されていますが。

菊地：そういう残念な事例がたくさんあるので（笑）

中元：じっさいそうだと思うのですけれど（苦笑）、民俗学の方法で感受性を高めていくことは、結局、「学即徳」に通じていくんじゃないかと、私は信じたいと思っています。

菊地：信じたいことは信じたいかな、私も。やはり博論まで書かれると、言うことが違いますね。ありがとうございます。

では、最後に記念写真を撮って終わりましょう。みなさん、思い出の一冊を持って、そのへんに並んで下さい。今日はありがとうございました。



写真6 レポート選校正担当者

付 記

以上は2023年3月5日、京都大学人文科学研究所本館セミナー室2で実施した座談会の記録である。このほか、『ライフストーリーレポート選』について言及した著作（いずれも菊地著）を掲げておく。

- 2015「ライフストーリー・レポートの無謀と野望 —— 柳田民俗学を「追体験」する ——」森本淳生編『〈生表象〉の近代 —— 自伝・フィクション・学知 ——』水声社
- 2021「生活史にあらわれる災害：ライフストーリーレポートの試みから」東京大学東洋文化研究所編・発行『2020年度4研究所合同シンポジウム アジアの災害』
- 2022a「どうして人は、何かを残したいと思うの？」公益財団法人せたがや文化財団・生活工房編・発行『生活工房アニュアルレポート2021』
- 2022b「(インタビュー) わが大学の先生と語る：ありのままを見つめて」『季刊読書のいずみ』172
- 2023a「人生のかけらを集める」『図書』889
- 2023b「コメント②二一世紀の家族研究のために —— 生活史と学校資料と ——」『京都民俗』41
- 2023c「道産子が民俗学を学んで『ライフストーリーレポート選』を編むまで」『口承文芸研究』46
- 2023d「ライフストーリーレポートの書かせ方：とある民俗学講師の場合」『現代思想』51/11

【ライフヒストリーレポート選収録作品一覧】

=2012=

- ①祖父：北海道札幌市南区農家息子／定山溪鉄道勤務 京大工1 庵智幸
- ②祖父：宮城県鳴子町大工息子／郵便局員／庭師 京大工1 新井健
- ③祖父：山形県南山村郡中川村農家息子／大本教入信／亀岡在住 京大法1 山口直也
- ④祖父：福井県大野郡農家息子／同郡農家婿養子 京大文1 石森淳美
- ⑤祖父：福井県小浜市出身／曹洞宗僧侶／京都府南丹市長榮寺住職 龍大文 M1 清水良紀
- ⑥祖父：岐阜県各務原市木曾川船頭息子／日本ライン川下り事業経営 京大工1 横山琢矢
- ⑦祖父：京都府相楽郡笠置寺住職息子／銀行員 京大工1 清水大地
- ⑧祖父：大阪市鉄工所経営者息子／大阪市役所職員 京大農1 澤田華
- ⑨祖母：大阪市経営者娘／会社員妻／喫茶店経営／奈良県在住 大阪市大文2 筋原佑紀子
- ⑩祖母：奈良県桜井市農家娘／田原本町商店主妻 大阪市大文3 萩原由久
- ⑪祖父：奈良県法隆寺村木挽息子／大工／農家 京大農1 森川盾毅
- ⑫祖母：兵庫県篠山市農家娘／農家妻 京産大3 藤井唱平
- ⑬祖父：広島県沼隈郡浦崎村長孫／土木技師 京大文1 藤原郁美
- ⑭祖母：広島県呉市旅館娘／疎開／事務員／食堂経営 大阪市大文2 中山友里
- ⑮祖父：広島県大崎下島農家息子／京大法学部卒／商社員／広島市在住 京大法5 加渡友美
- ⑯祖母：愛媛県越智郡下朝倉村農家娘／建築士妻／今治市在住 京大文1 越智雅子
- ⑰祖母：徳島県美馬市農家娘／食堂経営 大阪市大法4 臼木実央
- ⑱祖母：高知県宿毛市片島商業者娘／岸和田在住 龍大文3 上田千慧
- ⑲祖母：熊本県玉名郡滑石村農漁家娘／魚卸問屋妻／ミカン農家 龍大文3 中川朋美
- ⑳祖母：鹿児島県屋久島農家娘／大阪府寝屋川市在住 大阪市大文2 山口ありす
- ㉑祖母：沖縄県中城村農家娘／米軍基地勤務者妻 大阪市大文2 新垣李加子
- ㉒祖父：京都市朝鮮人宮神主息子／岡山県津山市へ引揚／豊中市役所職員 大阪市立大文2 吉岡
月子
- ㉓祖母：朝鮮半島出身／大阪市在住／土建会社経営者妻 大阪市大文2 金恵里
- ㉔祖父：朝鮮安城市出身／ソウル大卒／ソウル在住 京大農2 チェヒョンチョル
- ㉕祖父：台湾警官息子／愛知県蒲郡市教員 京大経1 小田博之
- ㉖祖母：タイ華僑豪商娘／香港移住／日本軍占領／写真館経営ほか 京大工2 Liu Tsz Kit

=2013=

- ①祖父：北海道上川郡農家息子／樺太引揚／北海道開発局職員／札幌市在住 京大理1 伏見公希
- ②祖母：岩手県釜石市漁師娘／漁師妻 京大文1 佐々木杏里
- ③祖母：東京市本所村木問屋娘／印刷業者妻／東京都練馬区在住 京大法1 小林奈津子
- ④祖母：福井県今立郡池田町木地販売加工業者娘／教員妻／越前市在住 京大農1 山田晴香
- ⑤祖父：山梨県南アルプス市農林業家息子／林業者／果実生産・販売業者 大阪市大文2 織田菜
月
- ⑥祖母：長野県東筑摩郡生坂村養蚕農家娘／飲食店経営／松本市在住 京大工1 山岸礼門
- ⑦祖母：長野県北安曇郡美麻村農家娘／トラック運転手妻 京大法1 細田かれん
- ⑧祖父：三重県尾鷲市電気屋息子／漁師 京大農1 世古将太郎
- ⑨祖母：中国大連市製綿業者娘／捕鯨船員妻／和歌山県串本町旅館経営 京大理1 須佐美慈
- ⑩祖父：兵庫県出石郡資母村農家息子／織物販売業／京都市在住 京大経1 西川正大

『ライフヒストリーレポート選』のこれまでとこれから（中野・齊藤・木谷・佐藤・中元・菊地）

- ①祖母：大阪市日本郵船航海士娘／毛織物職人妻／泉大津市在住 京大法1 西山実貴子
- ②祖父：兵庫県姫路市銀行員息子／国鉄職員／姫路市在住 京大農1 児島彬步
- ③祖母：兵庫県朝来郡和田山町農家娘／大工妻 京大法1 林征成
- ④祖父：兵庫県佐用郡佐用町農家息子／製鉄所職員／町会議員 京大法1 岡本拓海
- ⑤祖母：岡山県阿哲郡上刑部村農家娘／広島県庄原市農家妻 京大法1 釜野美和
- ⑥祖母：岡山県英田郡林野町呉服商娘／パチンコ店経営／奈良市在住 京大教1 王隆基
- ⑦祖母：山口県岩国市端島網元娘／教員妻 京大法1 奥野奈月
- ⑧祖父：香川県小豆島網元息子／ビール卸売業者／大阪市在住 大阪市大商2 森永碧
- ⑨祖父：徳島県西祖谷山村農家息子／教員 龍谷大文3 岩崎紘允
- ⑩祖母：福岡県北九州市居酒屋娘／中学教員／千葉県松戸市在住 京大総1 賀来沙樹子
- ⑪祖父：佐賀県鳥栖市出身／陸上選手／ホテル会社員／福岡市在住 京大農1 森本奨大
- ⑫祖父：長崎県福江島農漁家 京大医1 倉橋舞
- ⑬祖父：熊本県球磨郡多良木町農家息子／理容師／兵庫県神戸市在住 京大農1 丸山悟史
- ⑭祖母：宮崎県椎葉村出身／林業者妻／兵庫県宝塚市在住 大阪市大商4 高山慎太郎
- ⑮祖母：鹿児島県奄美大島農家娘／電電公社職員妻 京大教1 武田萌
- ⑯父：沖縄県沖縄市農家息子／中学校美術教員 龍谷大文M1 上間誠
- ⑰祖母：台北市医者娘／大学教員妻／兵庫県神戸市在住 京大文1 藤井瑛子
- ⑱祖母：朝鮮済州島農家娘／大阪市ヘップ工場経営者妻 大阪市大法3 新井恵美
- ⑲祖父：朝鮮慶尚北道出身／教員 京大経4 李善旭
- ⑳祖父：中国河北省農家息子／文化局副局長 京大農1 李瞳陽

=2014=

- ①祖父：北海道沙流郡日高町鉄工所経営者息子／製材会社勤務 京大工1 神谷元太
- ②祖父：群馬県高崎市出身／玩具問屋 京大農1 七五三木環
- ③祖母：千葉県長生郡漁師娘／消防士妻 大阪市大法3 西尾ちなみ
- ④祖父：石川県加賀市農家息子／トラック運転手／喫茶店経営者 京大文1 前田旺史
- ⑤祖母：三重県伊長島魚屋・船主娘／小学校教員／僧侶妻／伊勢市在住 大阪市大商2 林真光
- ⑥祖母：滋賀県近江八幡竹細工商娘／水道技師妻／大津市在住 大阪市大文2 村田和佳菜
- ⑦祖母：京都府大江山ニッケル鉱山労働者娘／運送会社経営者妻／滋賀県在住 京大文1 中村魁
- ⑧祖父：奈良県吉野郡農林業者息子／農林業者 京大文1 香田山陽
- ⑨祖父：大阪市西淀川区僧侶息子／シベリア抑留／税理士 京大工1 家田涼平
- ⑩祖母：大阪府泉大津市農家娘／不動産業者妻 大阪市大商3 井阪紘基
- ⑪父：兵庫県尼崎市出身／書籍販売業者／劇団員 大阪市大文2 岸藍樹
- ⑫祖母：鳥根県出雲市出身／京都市在住 京大文1 米田優
- ⑬祖母：山口県岩国市警官娘／朝鮮より引き揚げ／農家嫁 京大農1 槇嶋理華子
- ⑭知人女性：香川県高松市溶接工具娘／満州航空社員妻／大阪市在住 大阪市大文2 溝口大将
- ⑮祖母：香川県三豊市農家娘／漁師妻 大阪市大法3 船越大裕
- ⑯祖父：愛媛県四国中央市紙問屋息子／運送会社勤務 龍谷大文M1 川村凜太郎
- ⑰祖母：愛媛県宇和島市出身／満州開拓団／副牧師／埼玉県所沢市在住 京大文1 小川律子
- ⑱父：福岡市出身／ミュージシャン 京大文1 石田和生
- ⑲祖母：宮崎県竹細工職人娘／宮崎県川南町農家妻 大阪市大文3 田原知実

- ⑳祖父：京城市本屋息子／電気技師／富山県滑川市在住 京大法1 森綾香
 ㉑祖母：台北市工場経営者娘／大阪府守口市在住 大阪市大文2 坪本実咲
 ㉒祖母：天津市電話会社員娘／大分県竹田市に引き揚げ／商社員妻／東京在住 京大工1 坂井佑理

=2015=

- ①祖父：樺太豊原郡豊原町農家息子／自衛官／札幌市在住 京大文1 由浪怜奈
 ②祖母：岩手県胆沢郡金ヶ崎町農家娘／看護師／茨城県土浦市在住 京大法1 塚本麻衣
 ③祖父：東京市鉄道省官僚息子／通産省官僚／総理秘書／東京在住 京大文1 中村翠
 ④祖母：石川県珠洲市農家娘／小学校教員 京大工1 室谷尚吾
 ⑤祖父：長野県飯田市下伊那郡竜丘村行灯職人息子／学習図書出版社勤務／東京在住 京大総1 神野友志
 ⑥祖母：愛知県丹羽郡大口町農家娘／農協職員／養豚農家嫁 京大文2 平手伶
 ⑦祖母：三重県津市農家娘／建設会社社員妻 龍谷大文M1 辻本貴之
 ⑧大叔母：京都市染物業者娘／滋賀県伊香郡永原村移住／農家嫁／彦根市在住 京大農2 辻諄人
 ⑨祖母：奈良県山辺郡二階堂村タバコ屋兼農家娘／旅行代理店経営者妻／大阪在住 京大農1 福西詩奏
 ⑩知人男性：奈良県橿原市農家息子／国鉄職員：付，紀元二六〇〇年記念事業 京大理1 池田湧哉
 ⑪知人女性：大阪市西区出身／公務員妻／大阪市住吉区学生マンション経営者 大阪市大文2 小椋滉平
 ⑫祖母：和歌山県有田郡宮原村農家娘／水害被災／有田市みかん農家妻 京大文1 佐武千寛
 ⑬祖母：兵庫県津名郡一宮町農家娘／漁師妻 京大法1 魚住達史
 ⑭祖父：鳥取県西伯郡法勝寺村農家息子／県職員／鳥取市在住 大阪市大文3 海保隼人
 ⑮祖父：岡山県阿哲郡哲多町農家息子／工場勤務／大阪在住 大阪市大文2 高野千帆
 ⑯祖父：徳島県阿南市農家息子／大阪市清掃局勤務／日本共産党員／大東市在住 京大総1 金澤木綿
 ⑰祖母：高知県香美市天理教教会役員娘／いもけんぴ製造業者妻／南国市在住 京大文1 安岡達仁
 ⑱祖母：高知県幡多郡宿毛町農家娘／銀行員妻／大阪府高槻市在住 京大法1 島本英明
 ⑲祖母：福岡県戸畑市服屋娘／商社員妻／兵庫県宝塚市在住 大阪市大文2 中根悠里
 ⑳祖母：鹿児島県南九州市穎娃町農家娘／農家妻 大阪市立文2 飯伏由佳
 ㉑祖母：沖縄県具志頭村出身／米軍基地美容師／嘉手納町会議員妻 龍谷大文3 比嘉秋生
 ㉒祖父：朝鮮慶尚北道大邱商売人息子／学習図書出版者勤務／東京都分寺市在住 京大法1 茂野新太
 ㉓祖母：中国西安鉄道員娘／人民公社勤務／鄭州在住 京大総1 宮田遙
 ㉔祖父：中国河北省農家次男／内モンゴル自治区に移住／漁師兼銀行員 京大総1 謝劍竹

=2016=

- ①祖父：樺太真岡町漁師息子／漁師／タイヤ整備会社勤務／北広島市在住 京大理1 吉田壮志
 ②祖母：北海道北見市生まれ／樺太移住／引揚開拓農家／苫小牧市在住 大阪市大文3 齊藤佑太

『ライフストーリーレポート選』のこれまでとこれから（中野・齊藤・木谷・佐藤・中元・菊地）

- ③祖父：北海道函館市洋服屋息子／写真家／京都市在住 京大文1 田野佑花子
- ④祖父：山形県東田川郡三川町横川農家息子／自動車販売業／鶴岡市在住 京大文1 佐藤遼太郎
- ⑤祖母：群馬県みどり市繊維業者娘／渋川市在住 龍谷大文3 吉兼千陽
- ⑥祖父：茨城県高萩市生まれ／日立製作所勤務／北茨城市在住 京大農1 安里みくり
- ⑦祖母：静岡県浜松市「生長の家」講師娘／農家嫁 京大文1 小梢みなみ
- ⑧曾祖母：愛知県豊田市菅生町杣師娘／製糸工場勤務／印刷会社経営／名古屋市在住 京大文1 近藤悠人
- ⑨祖母：滋賀県旧神崎郡永源寺町（東近江市）生まれ／郵便局員／郵便局員妻 大阪市大文2 廣さちほ
- ⑩祖母：奈良県大和郡山市発志院町生まれ／天理市在住 大阪市大法3 村田佳帆理
- ⑪祖父：奈良県五條市真宗寺院住職息子／小中学校教員・住職 大阪市大文3 安満更紗
- ⑫祖母：大阪市生野区メガネレンズ製造業者娘／靴加工業者 大阪市大文2 徳山しのぶ
- ⑬祖母：大阪府魚沼商娘／工場勤務 大阪市大文3 竹井麻友
- ⑭祖父：兵庫県尼崎市稲葉元町農家息子／市役所勤務／在来芋復活に尽力 京大工1 荊尾太雅
- ⑮祖母：兵庫県芦屋市貿易会社支店長娘／化学会社勤務／教員／大阪在住 京大文1 吉田隼大
- ⑯祖母：兵庫県神崎郡船津町仁色農家娘／工場経営者妻 京大経1 青木直人
- ⑰祖父：鳥取県西伯郡大山町農家息子／京都呉服問屋勤務／奈良県三郷町在住 大阪市大文2 細井簾
- ⑱祖母：高知県宿毛市山名町山田農家娘／三原村役場職員妻 京大法1 戸野美柚
- ⑲祖母：鹿児島県大島郡知名町農家出身 京大法1 橋本直弥
- ⑳祖母：朝鮮京城府朝鮮総督府官吏娘／国会図書館員／会社員妻／兵庫県在住 大阪市大文3 木田千裕
- ㉑大叔父：中国大連満鉄職員息子／熊本大学助手／兵庫県明石市開業医 京大工2 上田隆生
- ㉒祖母：中国湖北省黄梅県杉木郷鴨湖村農家娘／江西省九江市へ転居／竹皮職人妻 大阪市大 特別研修生 徐蘊嘉
- ㉓祖父：タイ生まれ／中国広東省五華県移住／タイに帰国／工場・金融業経営 京大教1 タウィーボンサゴーン・パン

=2017=

- ①祖父：北海道虻田郡倶知安町比羅夫農家息子／国鉄職員／農家 龍谷大文3 出雲智也
- ②祖母：青森県五所川原市菓子屋娘／大工妻／建設会社経営／札幌市在住 京大文1 中田結依香
- ③祖母：宮城県筓岳村（現涌谷町）床屋娘／上京／船員妻／帰郷／床屋開業 京大法1 日野湧也
- ④祖母：東京小石川軍医娘／医師妻／北九州市戸畑区在住 京大文1 井上優子
- ⑤祖父：新潟県中頸城郡名香山村（現妙高市）農家息子／教員 京大工2 小出南
- ⑥祖父：新潟県中頸城郡保倉村（現上越市）農家息子／日本IBM勤務／名古屋市在住 京大文1 鈴木佑菜
- ⑦祖父：富山県富山市商家息子／機械製造業経営 京大医1 木谷百花
- ⑧祖母：福井県坂井郡（現坂井市）教員娘／公務員 京大法1 北出貴大
- ⑨祖父：福井県三方郡耳村和田（現美浜町和田）漁師息子／工場勤務／養殖業者／原発守衛 龍谷大文3 田邊隼騎
- ⑩曾祖母：長野県倭村柳沢（現中野市）農家・床屋娘／海軍機関士妻／床屋 京大文1 戸田絵湖

- ①祖父：三重県志摩市大王町波切町役場職員息子／農協職員 京大法1 小川大成
②知人男性：大阪市西成区菘之茶屋工員息子／寿司屋 大阪市大文3 森高智貴
③祖母：兵庫県宝塚市山本植木屋娘／酒屋経営者妻／大阪府茨木市在住 大阪市大文2 小山ひとみ
④祖母：岡山県苫田郡加茂町（現津山市）梨農家娘／神戸で就職／地元で結婚／津山市在住 大阪市大法3 梅原楓
⑤祖母：岡山県邑久郡邑久村（現瀬戸内市）農家娘／看護師／不動産業者妻 大阪市大文2 足達菜野
⑥祖父：香川県仲多度津郡長炭町（現まんのう町）真宗寺院息子／通産省四国支部勤務／多度津町在住 京大法1 西岡実紗子
⑦祖母：鹿児島県串木野市（現いちき串木野市）農家娘／紡績会社勤務／職場結婚／大阪府三島町在住 京大文1 池田実奈
⑧祖母：沖縄県那覇市上泉町（現前島町）旅館経営者娘／船舶会社社員妻／兵庫県明石市在住 大阪市大文2 河邊凌
⑨祖母：台北貿易会社経営者娘／引揚／神戸市真珠販売店勤務／教員妻／横浜市在住 京大工2 池美乃里
⑩祖父：中国大連造船所設計技師息子／長崎に引揚／大阪日立造船等勤務／三重県伊賀市在住 京大法1 橋口雄斗
⑪祖母：中国上海市金山区地主娘／化学研究者 京大法1 金佳欣
⑫祖母：フィリピン・ダバオ農園経営者娘／帰国／外資系企業勤務／会社員妻／起業／東京都在住 京大農1 酒向快

=2018=

- ①祖父：北海道網走郡女満別町農家息子／新篠津村開拓農家／札幌市在住 京大文1 谷野里空
②祖母：北海道久遠郡せたな町漁師娘／石川県金沢市繊維工場社員／内灘町在住 京大医1 駒木美紗
③祖父：福島県東白川郡石井村（現矢祭町）農家息子／運転手／東京都在住 立命館大文2 菊池恭平
④祖父：東京都墨田区地下足袋工場経営者息子／一級建築士／東京都在住 京大教1 鈴木智喜
⑤祖母：東京都世田谷区生まれ／福岡県筑後市船小屋に転居／上京／洋服屋店員 大阪市大文3 北島美穂
⑥大叔母：山梨県南都留郡鳴沢村農家娘／キャベツ・レタス農家妻 京大総1 渡邊匠
⑦祖母：三重県度会郡五ヶ所町農家・網元娘／伊勢市教員妻／保育士 大阪市大文3 尼子智佳
⑧祖母：大阪生まれ／大道具職人妻／中華料理店開業／大阪府枚方市在住 大阪市大文4 藤田里朱
⑨祖父：大阪生まれ／兵庫県氷上郡国領村に疎開／信用金庫勤務／大阪市在住 京大法1 清水由希
⑩祖母：大阪府堺市貸家業者娘／薬剤師／教員妻／神戸市在住 京大法1 森本雄介
⑪祖父：和歌山県東牟婁郡太地町漁師息子／漁師 京大理2 漁野光紀
⑫祖父：岡山県御津郡江与味村農家息子／農家／運転手／ゴルフ場勤務／製材会社勤務 京大法1 芦田晴香

『ライフヒストリーレポート選』のこれまでとこれから（中野・齊藤・木谷・佐藤・中元・菊地）

- ⑬祖父：広島県安佐郡鈴張村（現広島市安佐北区）農家息子／ミシン工場勤務／愛知県在住 京大文1 末田泉名
- ⑭祖母：山口県岩国市坑木店主娘／満洲でタイピスト／引揚／周南市小売店主妻 同志社大4 清水優子
- ⑮祖父：山口県阿武郡阿武町漁師息子／大阪ガス勤務／奈良県橿原市在住 京大法1 近藤杏樹
- ⑯知人男性：長崎市炭鉱夫息子／定食屋経営者／大阪市在住 大阪市大文3 行田美希
- ⑰知人男性：台湾桃園医師息子／産婦人科医／東京近郊在住 京大教1 松岡巧
- ⑱祖父：朝鮮全羅南道谷城郡出身／マッコリ酒造場経営者 大阪市大文交換留学生 朴慧完
- ⑲祖母：朝鮮全羅南道長興郡冠山面農家娘／農家妻／康津在住 大阪市大文交換留学生 金正賢
- ⑳知人男性：中国大連材木商息子／アーチェリーショップ、骨董店経営者／京都市在住 京大農2 宮岡穂花
- ㉑祖母：中国吉林省九台小南村農家娘／事務職員／電気工具妻／長春市在住 大阪市大文2 管新寧
- ㉒祖母：ベトナム・ホーチミン市行商人娘／日本亡命／大阪府八尾市在住 大阪市大文2 高山朝美
- ㉓父：南洋群島アギーガン島精糖会社員息子／山形県へ引揚／電機会社員／東京都在住 京大総1 我妻俊介

=2019=

- ①祖母：北海道札幌市生まれ／岡山県津山市転居／材木屋妻／雑貨店主 大阪市大法5 住田崇
- ②祖母：秋田県山本郡鹿渡町大工棟梁娘／静岡県浜松市転居／県職員妻 京大工2 福崎利仁
- ③祖父：千葉県印旛郡永治村谷田（現白井市）農家息子／農家 京大総3 橋本遼太
- ④祖父：東京都新宿区実業家息子／ログハウス輸入販売業者／世田谷区在住 京大法1 田中慎之介
- ⑤祖母：石川県珠洲市三崎町農家娘／市職員妻／同市若山町在住 京都学園大4 乙井遼平
- ⑥祖母：石川県白山市河内村炭焼き娘／兵庫県尼崎市在住 大阪市大法3 松尾侑
- ⑦祖父：愛知県豊橋市神主息子／教員／神主 京大文1 前澤芽依
- ⑧祖父：愛知県豊橋市呉服店員息子／呉服店主 京大経1 谷野僚亮
- ⑨祖父：愛知県丹羽郡千秋村農家息子／部品問屋経営／岐阜県羽島郡岐南町在住 京大文1 西村陽菜
- ⑩祖母：三重県津市農家娘／バスガイド／会社員妻／保育園勤務 京大農2 田中健太
- ⑪祖父：三重県紀和町林業家息子／アメリカ農業労働者／奈良県橿原市澱粉工場勤務 大阪市大文4 坂本陸
- ⑫祖父：京都市北区工具息子／織物商 龍谷大文M1 中村実咲
- ⑬祖父：京都市下京区織維問屋息子／国家公務員／国会議員／東京都港区在住 京大総2 井上健
- ⑭祖母：京都市下京区生まれ／市川少女歌舞伎団員／中華料理屋／釣具店／大阪市在住 京大文1 大西由夏
- ⑮祖母：奈良県宇陀郡榛原町（現宇陀市）文房具店員娘／教員／五條市在住 京大工2 米田元樹
- ⑯祖母：兵庫県宝塚市クリーニング業者娘／新幹線車内販売員／工務店経営／三田市在住 京大教1 山見宝生
- ⑰祖母：兵庫県洲本市農家娘／列車食堂ウェイトレス／農家 大阪市大法4 濱田大輔

- ⑮祖父：岡山県邑久郡長船町（現瀬戸内市）農家息子／国鉄職員 京大法1 妹尾優香
- ⑯祖母：岡山県高梁市教員娘／満洲転居／三重県紀伊長島町転居／牧師／四日市市在住 京大総1 町田奏
- ⑰祖父：島根県江津市農家兼桶屋息子／電機屋／大阪府松原市在住 大阪市大経2 奥田大輝
- ⑱祖母：山口市国鉄職員娘／満洲転居／福岡県築上郡椎田町引揚／保母／福岡市在住 京大医1 渡邊顕子
- ⑳祖父：佐賀県三養基郡南茂安村（現みやき町）農家息子／農家兼漁師 京大文1 江島有紀
- ㉑祖母：大分県東国東郡伊美村（現国東市）菓子製造業者娘／役場職員妻 京大文1 安藤颯汰
- ㉒大祖母：大分県南海部郡弥生村（現佐伯市）教員娘／鹿児島市ホテル勤務／佐伯市在住 京大法1 藤田弘樹
- ㉓伯父：熊本県八代郡東陽村（現八代市）農家息子／電機メーカー社員／兵庫県伊丹市在住 京大総2 河村晴実
- ㉔祖母：鹿児島県大島郡喜界町農家娘／会社経営者妻／大阪府堺市在住 大阪市大文2 邦彩花
- ㉕祖母：鹿児島県大島郡伊仙村（現伊仙町）漁師娘／大阪市転居／縫製店経営 京大教1 平松巧
- ㉖祖母：台湾台北市教員娘／宮崎県高千穂町転居／教員／宮崎市在住 京大法1 橋本康平
- ㉗祖母：朝鮮平壤近郊教員娘／高知県高岡郡窪川町（現四万十町）転居／教員／高知市在住 京大文1 田村彩恵
- ㉘祖母：福建省廈門市農家娘／書店主養女／理髪師妻 京大総3 李一波
- ㉙祖母：インド・タミルナード州イーロードゥ綿花農家・綿織物工場娘／医学研究者 京大工1 バラスプラマニアンマナシャ

=2020=

- ①祖父：南樺太留多加郡能登呂村林業者息子／北海道新冠町引揚／国鉄職員／札幌市在住 京大文1 佐藤珠希
- ②祖父：北海道夕張市小作農家息子／炭鉱員／共産黨員／建築士／札幌市在住 京大法1 中村蒔夫
- ③祖父：青森県八戸市漁師息子／オートバイ店経営者 京大総2 今村円香
- ④祖父：山形県酒田市農家息子／家業手伝い／東北電力社員 京大文1 齋藤優穂
- ⑤祖母：埼玉県川口市魚屋娘／印刷屋／通信制高校生徒／千葉県我孫子市在住 京大教1 杉谷佳琳
- ⑥祖母：埼玉県入間郡毛呂山町農家娘／東京浅草養子入り／製鉄所工具妻／千葉県市原市在住 京大文1 和田一希
- ⑦祖母：東京都港区生まれ／中国北京市転居／和歌山県引揚／新聞社員妻／奈良県北葛城郡広陵町在住 京大総4 丸中陽友
- ⑧祖母：東京都世田谷区教員娘／埼玉県幸手市疎開／製薬会社勤務／結婚／神奈川県座間市在住 京大文1 石川琢
- ⑨祖母：石川県輪島市製紙工具娘／朝市漬物販売業者 京大工2 古原百華
- ⑩祖母：福井県福井市公務員娘／石川県加賀市薬局経営 京大理2 三森愛結佳
- ⑪祖母：山梨県中巨摩郡大鎌田村（現甲府市）／旅館経営者妻／教習所経営者／東京都在住 京大総2 山口ひびき
- ⑫祖母：岐阜県郡上郡白鳥町（現郡上市）農家娘／工場勤務／トラック運転手妻 京大文2 奥田

『ライフヒストリーレポート選』のこれまでとこれから（中野・齊藤・木谷・佐藤・中元・菊地）

京佑

- ⑬祖母：岐阜県岐阜市建設業者娘／工場事務勤務／岐南町ねぎ農家妻 京大文1 原川優羽紀
- ⑭祖母：名古屋市県職員娘／愛知県日進町（現日進市）転居／自動車関連会社経営者妻 京大法1 石川慧
- ⑮祖父：滋賀県八日市満鉄職員息子／中国牡丹江市転居／引揚／大阪市職員／神戸市在住 京大薬2 児玉開
- ⑯知人男性：京都市左京区下宿屋息子／水球選手／証券会社員／メーカー社員／下宿屋 京大総1 松村幸史朗
- ⑰祖父：奈良県高市郡高取町青果店主息子／コンビニ店主 龍谷大文 M1 森本太郎
- ⑱祖父：大阪府八尾市呉服店息子／呉服店主 京大文1 池内亮太
- ⑲祖父：和歌山県和歌山市浄土宗寺院息子／浄土宗僧侶 龍谷大文 M1 長谷川真佑
- ⑳祖母：兵庫県相生市農家娘／事務職員／許嫁と結婚／京都府八幡市在住 京大医1 城尾みのり
- ㉑祖父：兵庫県加東市播州織製造業者息子／播州織製造業者 京大法1 秋田梨帆
- ㉒祖母：島根県松江市化粧品・小間物店主娘／衣類バイヤー／家具店主妻 京大文1 小西清佳
- ㉓祖母：香川県東かがわ市農家娘／看護師／バス運転手妻／さぬき市在住 京大文1 三谷幸聖
- ㉔祖父：香川県大川郡小田村漁師息子／国道フェリー機関長／さぬき市在住 京大経1 溝内颯
- ㉕親戚女性：熊本県人吉市農家娘／天理教教会長／大阪市城東区在住 龍谷大文3 東野空
- ㉖祖父：鹿児島県鹿児島市国鉄職員息子／郵便局長 京大理2 下村真由
- ㉗祖母：鹿児島県肝属郡根占町農家娘／大阪府貝塚市工場勤務／高知県宿毛市沖ノ島在住 龍谷大文3 八海莉央
- ㉘祖母：沖縄県国頭郡伊江村農家娘／沖縄戦捕虜／農家妻 京大法1 照屋瑠
- ㉙祖父：中国大連市洋品店経営者息子／引揚／タクシードライバー／京都市伏見区在住 京大理4 住山恭平
- ⑳祖母：中国雲南省楚雄イ族自治州大姚県範湾村農家娘／農家妻 京大総3 何璠
- ㉑祖母：アイスランド・オウラフスフィヨルズウル村漁師娘／漁師妻 京大 KUINEP Kristlaug

=2021=

- ①祖父：北海道札幌郡琴似村（現札幌市西区）農家息子／大学教授 京大農2 森本昂
- ②祖父：北海道札幌郡白石村（現札幌市白石区）地主息子／薬剤師／中央区在住 京大理1 室川麻伊子
- ③知人女性：東京都杉並区海上保安官娘／寺院坊守／京都市右京区在住 京大工2 長谷川裕亮
- ④祖父：神奈川県愛甲郡南毛利村（現厚木市）豆腐屋息子／豆腐屋 京大文1 鳥居美彩子
- ⑤祖母：神奈川県横須賀市生まれ／築地市場果実問屋社長娘／長崎市寺院坊守 京大農2 喜安奏太
- ⑥祖父：石川県河北郡大場村（現金沢市）農家息子／農家 京大理1 東蓮太郎
- ⑦祖母：長野県埴科郡戸倉町（現千曲市）農家娘／農林省職員妻 龍谷大文 M1 中村響
- ⑧祖父：名古屋市瑞穂区工場経営者息子／工場経営者 京大教1 大脇茉那
- ⑨祖母：滋賀県東浅井郡上草野村（現長浜市）酒屋娘／教員妻 京大法1 矢守慶太
- ⑩祖母：滋賀県高島市農家娘／女中奉公／農家妻 京大工2 山本章平
- ⑪祖母：京都市上京区牧師娘／中国青島転居／引揚／国鉄職員妻／茨城県稲敷郡阿見町在住 京大法5 石沢純也

- ⑫祖母：京都市上京区生まれ／父戦死／縁故疎開／メーカー勤務／メーカー社員妻／向日市在住
京大医1 友光麻結
- ⑬祖父：大阪府三島郡新田村（現豊中市）機屋息子／滋賀県朽木村転居／機屋経営者 龍谷大文3
中蔵美実
- ⑭祖母：大阪市生野区生まれ／ソフトボール社会人選手／球場受付嬢／会社員妻／大阪府摂津市在住
龍谷大文M2 谷小波
- ⑮祖母：和歌山県日高郡切目村（現印南町）農機具屋娘／事務員／職場結婚／大阪府松原市在住
京大法1 村上日菜子
- ⑯祖父：和歌山県西牟婁郡日置町（現白浜町）精米商息子／役場職員 龍谷大文3 川上慎太郎
- ⑰祖父：神戸市兵庫区電気屋息子／伯父（大工）養子／材木屋 龍谷大文M1 石川純歌
- ⑱祖母：兵庫県竜野市電気療法士娘／父早世／大阪市縫製会社住込み／大阪府門真市在住 京大教
1 山下幸代
- ⑲祖父：兵庫県小野市寺院息子／加古川市寺院婿養子／英文科卒／高校教員／住職 京大工2 覺
前達允
- ⑳祖母：島根県大原郡木次町（現雲南市）農家娘／工場勤務／農業普及員妻／松江市宍道町在住
京大文1 周藤紗季
- ㉑祖母：香川県小豆郡土庄町和菓子屋娘／洋服屋勤務／結婚／神戸市在住 龍谷大文3 長谷川桃
香
- ㉒祖父：香川県木田郡川添村（現高松市）農家息子／家具職人／内装業者 京大文2 岡田悠誠
- ㉓祖父：佐賀市地主息子／教員 京大文2 日比野真帆
- ㉔祖父：大分県玖珠郡玖珠町教員息子／教員／教職員組合専従 京大文1 梅木なるみ
- ㉕知人男性：宮崎市カメラマン息子／遠洋航路勤務／実習船機関士／ボランティア／鹿児島市在住
京大ア研D2 杉野好美
- ㉖祖母：沖縄県国頭郡今帰仁村生まれ／諸職転々／那覇市在住 龍谷大文M1 野間颯
- ㉗祖母：台湾台東市農家娘／家事手伝い／会社員男性妻／台北市在住 京大経2 孫唯恩
- ㉘祖母：朝鮮咸鏡南道文川郡都草面セメント会社社員娘／引揚／研究室職員／教員／東京都在住
京大法1 荻原正裕
- ㉙祖母：朝鮮全羅南道木浦市生まれ／福岡県飯塚市引揚／事務員／サリドマイド服用／福岡市在住
京大理2 権藤洗人
- ⑳祖母：中国新京市（現長春市）満鉄社員娘／宮崎県都城市引揚／バス会社勤務／教員妻 京大法
1 山内綾夏
- ㉑祖母：中国上海市生まれ／安徽省火薬工場勤務／会計士／上海市在住 京大工2 SHA
YUCHEN
- ㉒祖母：南洋テニアン島写真屋娘／沖縄県引揚／那覇市在住 京大理2 森春樹
- =2022=
- ①祖父：北海道函館市国鉄職員息子／札幌市転居／市役所職員 京大文3 齊藤ゆずか
- ②祖父：岩手県宮古市漁師息子／遠洋漁船乗組員 京大文1 青田朗真
- ③祖父：東京都大田区海苔問屋息子／海苔問屋 京大法1 岩田眞之介
- ④祖父：新潟県佐渡郡金沢村生まれ／農家養子／神戸市転居／タクシー運転手 京大理2 中川将
- ⑤祖母：長野県北佐久郡軽井沢町農家娘／農家妻／佐久市在住 京大薬3 柳澤和希

『ライフストーリーレポート選』のこれまでとこれから（中野・齊藤・木谷・佐藤・中元・菊地）

- ⑥祖母：長野県諏訪郡農家娘／埼玉県北埼玉郡種屋妻 京大農2 登坂優菜
- ⑦祖母：愛知県名古屋会社員娘／弥富市転居／郵便局員妻 京大法1 中川颯大
- ⑧祖父：三重県度会郡南伊勢町漁師息子／漁師／土地家屋調査士 京大理2 濱地卓峰
- ⑨祖父：滋賀県農家息子／会社員／労働運動参加／支店長 京大法1 山形純平
- ⑩祖父：滋賀県大津市農家息子／建設会社勤務／農家 龍谷大文M2 前田詞子
- ⑪祖母：京都市伏見区神具店娘／保育士／鉄工所経営者妻／神具店経営者 京大農1 三輪突起
- ⑫知人男性：京都市左京区生まれ／ホテルマン／旅館・アパート経営者 京大工6 田口雄一
- ⑬祖父：京都市中京区うどん屋息子／寿司屋店主 京大農2 富森莞太
- ⑭祖母：京都府舞鶴市教員娘／営業職／大学教員妻／滋賀県大津市在住 京大農2 浪江みづき
- ⑮祖父：奈良県桜井市神主養子／郵便局員／養蜂家 京大工2 山村萌々香
- ⑯祖父：奈良県御所市農家息子／市役所職員 京大工2 藤川力太
- ⑰祖父：大阪府泉佐野市農家息子／機械技師 京大工2 海老原結斗
- ⑱祖母：大阪市西区内装業者娘／兵庫県朝来市疎開／姫路市雑貨店経営者妻 京大教1 中野花菜
- ⑲祖母：神戸市葺合区（現中央区）生まれ／鹿児島県沖永良部島転居／保育士／百合販売業者妻
京大医2 大里美和
- ⑳祖父：兵庫県神崎郡福崎町生まれ／姫路市会社勤務／雑貨店経営／放送大学在学中 京大教1
中野花菜
- ㉑曾祖母：兵庫県高砂市農家娘／看護婦／神戸市傷痍軍人妻／夫死別／会社員妻／高砂市在住 京
大農2 加藤瑠奈
- ㉒祖父：岡山県倉敷市農家息子／農家・造園業者 龍谷大文3 原健一郎
- ㉓祖母：島根県能義郡広瀬町（現安来市）農家娘／農家妻 龍谷大文3 豊田新奈
- ㉔祖父：島根県能義郡能義村（現安来市）農家息子／メーカー勤務／喫茶店開業／愛知県春日井市
在住 京大文1 田口結希
- ㉕祖母：徳島県阿波郡土成村（現阿波市）商家娘／工場経営者妻／家具屋経営／吉野川市在住 京
大工3 鎌田安希子
- ㉖祖母：徳島県阿南市農家娘／愛知県一宮市事務職員／奈良県磯城郡田原本町在住 京大農2 計
盛晴香
- ㉗祖母：台湾台南市生まれ／船員妻／保育園経営者／台北市在住 京大工2 丹羽望
- ㉘祖父：韓国巨済島漢方医息子／小学校教員／駐日韓国教育院院長／別府大学教授／韓国大邱市在
住 京大総1 久我美里
- ㉙祖父：韓国慶尙北道青松郡巴川面丙夫里農家息子／農家／鉦夫 京大理1 LEE WOJOO
- ㉚祖父：中国吉林省長春市満鉄社員息子／大阪府吹田市引き揚げ／養子入り／獣医 京大総1 三
溝亜優
- ㉛祖父：南洋ポナペ島林野庁職員息子／静岡県三島市転居／メーカー研究員／大学教授／京都府長
岡京市在住 京大工2 寺迫亮太